

環境経営レポート

対象期間 2023年10月～2024年9月



OFK electric Industry

環境レポート作成日 2024年11月20日

目次	・・・・・・・・・・ 2
1】環境経営方針	・・・・・・・・・・ 3
2】行動指針	・・・・・・・・・・ 3
3】事業活動の概要	・・・・・・・・・・ 3
4】環境管理組織体制	・・・・・・・・・・ 4
5】環境目標	・・・・・・・・・・ 5
6】環境目標とその実績	・・・・・・・・・・ 6
7】環境活動計画の実施状況	・・・・・・・・・・ 7
8】環境負荷低減の取組結果	・・・・・・・・・・ 8
9】環境負荷低減の取組評価と次年度への課題	・・・・・・・・・・ 9
10】環境負荷低減への次年度の取組目標	・・・・・・・・・・ 10
11】環境関連法規の取りまとめと遵守評価表	・・・・・・・・・・ 11
12】エコアクション21の教育計画	・・・・・・・・・・ 12
13】代表責任者による全体の評価と見直	・・・・・・・・・・ 12

1】環境経営方針

適用:2024年3月まで

株式会社オエフケー電子工業は道路情報板及び物流搬送機の製造にあたり、地球に与える環境負荷の影響に配慮し「環境にやさしいものづくり」に社員全員で継続かつ効率的に取り組み、環境負荷の低減に努め社会的責任を果たす企業を目指します。

2】行動指針

当社は「環境にやさしいものづくり」の理念に基づき以下の取り組みを実施します。

- ① 環境関連法規を遵守して環境の保全に努めます。
- ② 環境教育により社員全員が率先して環境負荷を低減できるように取り組みます。
- ③ 事業活動で排出される廃棄物を分別・リサイクルによって排出量を削減します。
- ④ 省エネルギー活動の推進により環境資源の消費量削減に取り組みます。
- ⑤ 環境負荷低減への取り組みを構築して適正かつ継続的に行います。

制定日 平成29年9月1日

株式会社オエフケー電子工業

3】事業活動の概要

① 名称及び代表者

社 名 株式会社オエフケー電子工業
代 表 者 代表取締役 奥 村 浩 作
設 立 1988年 9月

② 所 在 地

本 社 工 場 490-1204 愛知県あま市花長堀上11-2
TEL052-443-4881 FAX052-442-2061
七 宝 工 場 497-0001 愛知県あま市七宝町沖之島下折5
枇杷島工場 〒452-8602 愛知県清須市西枇杷島町一反五畝割496-1

③ 事業内容

道路情報表示板・車載式情報装置・無人搬送車・バッテリー充電器の製造及び検査

④ 事業規模

従 業 員 52名
延べ床面積 1743㎡ (本社工場288㎡ 七宝工場1080㎡ 枇杷島工場375㎡)
七宝工場は名古屋電機工業様からの賃貸
枇杷島工場は明電舎様からの賃貸

1】環境経営方針

適用:2024年4月以降

株式会社オエフケー電子工業は、自動搬送車用バッテリーリフトの充電器の製作ならびにEVの電動モーターの製作にあたり、地球に与える環境負荷の影響に配慮し「環境にやさしいものづくり」に社員全員で継続かつ効率的に取り組む、環境負荷の低減に努め社会的責任を果たす企業を目指します

2】行動指針

当社は「環境にやさしいものづくり」の理念に基づき以下の取り組みを実施します。

- ① 環境関連法規を遵守して環境の保全に努めます。
- ② 環境教育により社員全員が率先して環境負荷を低減できるように取り組みます。
- ③ 事業活動で排出される廃棄物を分別・リサイクルによって排出量を削減します。
- ④ 省エネルギー活動の推進により環境資源の消費量削減に取り組みます。
- ⑤ 環境負荷低減への取り組みを構築して適正かつ継続的に行います。

制定日 平成29年9月1日

改訂日 令和6年4月1日

株式会社オエフケー電子工業

代表取締役 奥村浩作

3】事業活動の概要

① 名称及び代表者

社名	株式会社オエフケー電子工業
代表者	代表取締役 奥村浩作
設立	1988年 9月

② 所在地

本社工場	490-1204 愛知県あま市花長堀上11-2 TEL052-443-4881 FAX052-442-2061
枇杷島工場 七宝工場	〒452-8602 愛知県清須市西枇杷島町一反五畝割496-1 2024年3月末に閉鎖

③ 事業内容

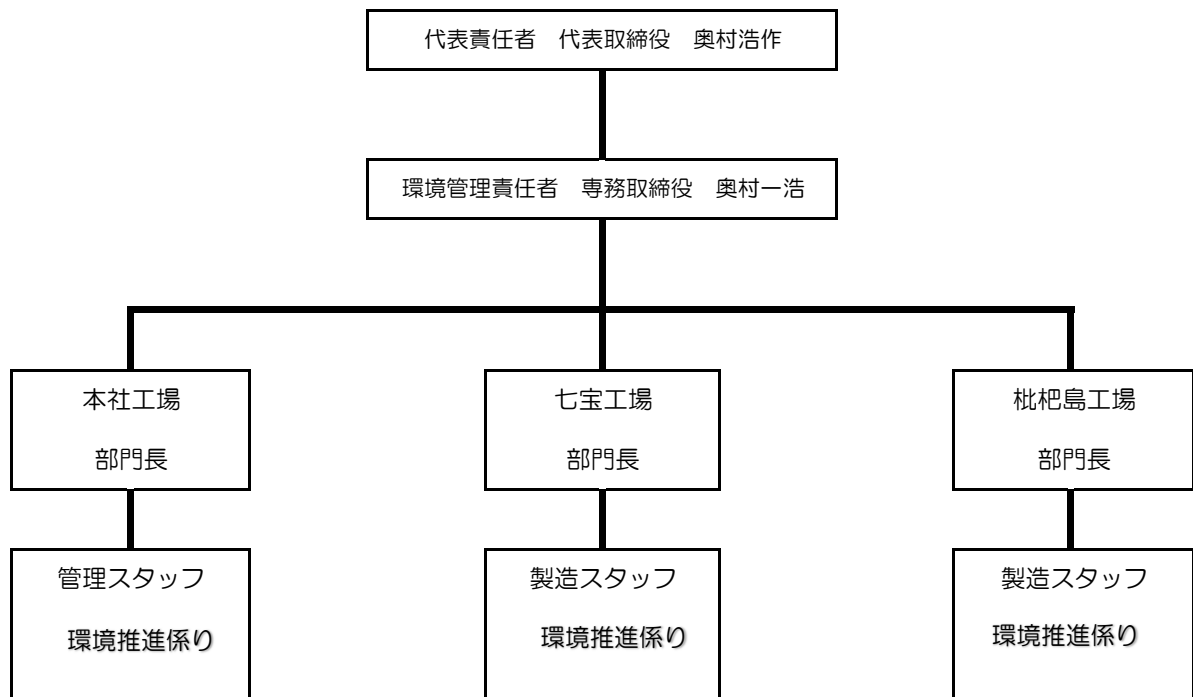
EVの電動モーター及び自動搬送車用バッテリーリフトの充電器の製造及び検査

④ 事業規模

従業員	40名
延べ床面積	663㎡ (本社工場288㎡ 枇杷島工場375㎡) 枇杷島工場は明電舎様からの賃貸

4】環境管理組織体制 (2024年3月末まで適用)

① 実施体制図

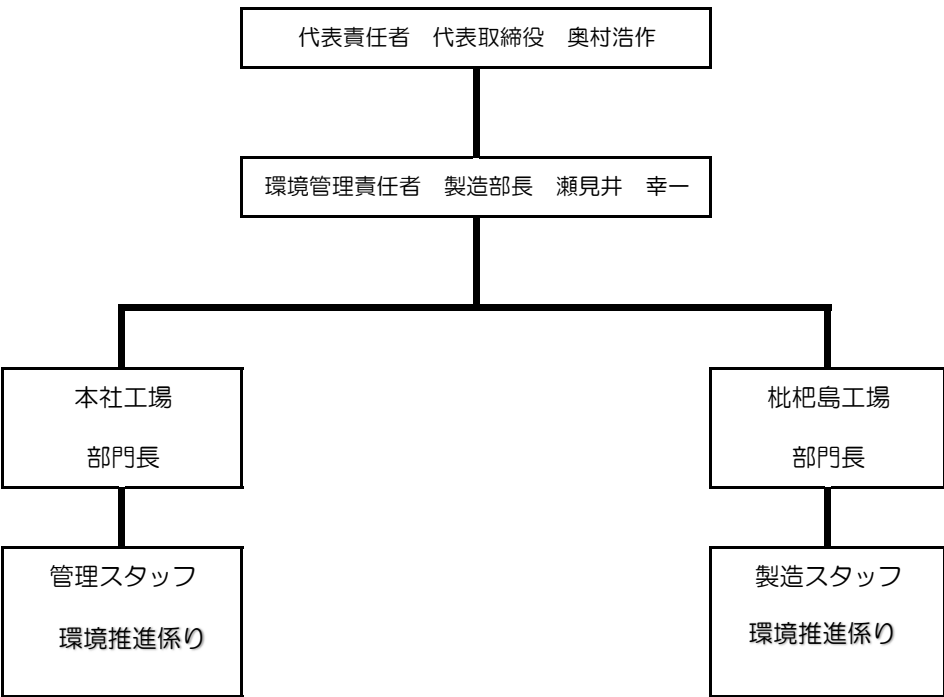


② 実施体制の権限と役割

名 称	権 限	役 割
代表責任者 (代表取締役)	環境方針の策定と環境業務全般を統括する 環境管理責任者を任命	環境方針の策定と推進・全従業員への周知徹底・環境目標や計画の見直し・資金・設備の調達・人材の育成・環境活動レポートの承認
環境管理責任者 (専務取締役)	環境実務の責任者として環境経営システムを構築・運用・管理する 各部門長を任命	各部門担当者へ環境目標・環境活動計画を伝達し進捗管理をする。 代表者へ環境活動への取り組み結果を報告し環境活動レポートを提出する
環境部門長 (各工場長)	担当者別に環境目標を作成指示・承認を行い実施させる	製造スタッフへの周知徹底並びに進捗管理環境関連法規等の順守・環境に適した生産管理を行う 環境管理責任者へ活動結果を報告する
環境推進係り 製造スタッフ	担当する活動を推進する	環境に適した生産・活動目標への取り組みと達成 各種情報の収集と管理を部門長に報告をする

4】環境管理組織体制 (2024年4月以降適用)

① 実施体制図



② 実施体制の権限と役割

名 称	権 限	役 割
代表責任者 (代表取締役)	環境方針の策定と環境業務全般を統括する 環境管理責任者を任命	環境方針の策定と推進・全従業員への周知徹底・環境目標や計画の見直し・資金・設備の調達・人材の育成・環境活動レポートの承認
環境管理責任者 (専務取締役)	環境実務の責任者として環境経営システムを構築・運用・管理する 各部門長を任命	各部門担当者へ環境目標・環境活動計画を伝達し進捗管理をする。 代表者へ環境活動への取り組み結果を報告し環境活動レポートを提出する
環境部門長 (各工場長)	担当者別に環境目標を作成指示・承認を行い実施させる	製造スタッフへの周知徹底並びに進捗管理環境関連法規等の順守・環境に適した生産管理を行う 環境管理責任者へ活動結果を報告する
環境推進係り 製造スタッフ	担当する活動を推進する	環境に適した生産・活動目標への取り組みと達成 各種情報の収集と管理を部門長に報告をする

5】環境目標【中期計画】

P=5 2022-2024基準値設定(七宝閉鎖以降)

③各基準値は、七宝工場が過去3年間半年、年間無しで計算

④各基準値の確認

環境方針	環境目標項目	担当部門	単位	A:基準年度【七宝稼働】⇒2022年度目標	B:基準年度【七宝後半閉鎖】⇒2023年度目標	C:基準年度【七宝年間閉鎖】⇒2024年度目標	年度目標		
				直近 2019&2021年 度の実績値平均 (コロナ影響2020 年度除く)	←	←	2022年度 【基準A× 0.99】	2023年度 【基準B× 0.98】	2024年度 【基準C× 0.97】
①二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素総排出量の削減	全部署	kg-CO ₂ * 1	47,894	36,449	22,279	47,415	35,720	21,611
			売上(百万円)	161.8	106	50	162	106	50
			kgCO ₂ /百万円	296	344	443	293	337	430
	電力使用量の削減	全部署	KWh	50,180	34,930	16,430	49,678	34,231	15,937
	ガソリン使用量の削減	全部署	L	5,238	3,857	2,147	5,185	3,780	2,083
	軽油使用量の削減	全部署	L	3,454	3,097	2,584	3,419	3,035	2,506
②廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減(総量)	全部署	t	9.42	←	←	9.32	9.23	9.13
	産業廃棄物の削減(総量)	製造部	t	0.15	←	←	0.149	0.147	0.146
③節水	水使用量の削減	全部署	m ³	8,109	4,704	1,308	8,027	4,610	1,269
④化学物質使用量の削減	化学物質使用量の削減	製造部	L	PRTR対象物質 エチルベンゼン：27L	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
⑤不適合品の削減	製造工程における不適合品の削減	製造部	納入先クレームの削減	データ収集と適切対応⇄目標値設定が望まれる	←	←	データ収集と適切対応	←	←
社会貢献	会社周辺の清掃実施	全部署	件/月	1回/月	←	←	1回/月	←	←

* 1 平成30年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数 (0.480kg-CO₂/kWh中部電力調整後排出係数)を使用する

* 1 二酸化炭素総排出量には灯油、LPG使用量も含む

* 2 エチルベンゼン（PRTR対象物質）は使用量自体は少量であるが生産量と関係するため適正管理とした。

* 3 B:基準年度：2023年度の目標値設定のための基準値としてR1 & R3年度の4月以降の七宝工場の使用量ゼロとして計算。
C:基準年度：同様に2024年度に向けてR1 & R3年度の七宝工場の使用量ゼロとして計算。

6】環境目標と実績、評価

2023年度:10月～9月

環境方針	環境目標項目	担当部門	単位	B：基準年度	2023年度 目標	2023年度 実績	評価
				直近 2019&2021年 度 の実績値平均 (コロナ影響2020 年度除く)			○目標値達成 ×目標値未達 △やや不十分
①二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素総排出量の削減	全部署	kg-CO ₂ * 1	36,449	35,720	30,946	○
	原単位		kgCO ₂ /百万円	344	337	159	○
	電力使用量の削減	全部署	KWh	34,930	34,231	29,010	○
	ガソリン使用量の削減	全部署	L	3,857	3,780	2,904	○
	軽油使用量の削減	全部署	L	3,097	3,035	2,997	○
②廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減（総量）	全部署	t	9.42	9.23	14.2	×
	産業廃棄物の削減（総量）	製造部	t	0.15	0.147	1.51	×
③節水	水使用量の削減	全部署	m3	4,704	4,610	3,615	○
④化学物質使用量の削減	化学物質使用量の削減	製造部	L	PRTR対象物質 エチルベンゼン：27L	適正管理	エチルベンゼン：20L	○
⑤不適合品の削減	製造工程における不適合品の削減	製造部	納入先クレーム件数の削減	データ収集と適切対応⇨目標値設定が望まれる	データ収集と適切対応	データ収集と適切対応	○
社会貢献	会社周辺の清掃実施	全部署	件／月	1回／月	1回／月	1回／月	○

* 1 平成30年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数(0.480kg-CO₂/kWh中部電力調整後排出係数)を使用する。二酸化炭素総排出量には灯油・LPG使用料も含む

* 2 エチルベンゼン(PRTR対象物質)は使用量自体は少量であるが生産量と関係するため適正管理とした。

* 3 B:基準年度:2023年度の目標値設定のための基準値としてR1 & R3年度の4月以降の七宝工場の使用量ゼロとして計算。

7】環境活動計画の実施状況

削減項目	環境目標項目	取組内容	担当部門		2023年			2024年								
				月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
二酸化炭素排出量	電力使用量の削減	冷暖房管理の徹底 (夏場28度、冬場20度)	全部署	計画	計画		設定	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用
				実績	☆		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		照明器具の点検・清掃	製造部	計画	-	清掃	-	-	-	-	-	清掃	-	-	-	-
				実績	-	○	-	-	-	-	-					
		空調機のフィルターを2回／年清掃する	製造部	計画	-	清掃	-	-	-	-	-	清掃	-	-	-	-
				実績	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	
		不要な照明の消灯（始業前、休憩時、就業後、トイレ等）	全部署	計画	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用
				実績	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		OA機器は省電力設定にする	全部署	計画	計画		設定	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用
				実績	☆		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		設備のアイドリング時間短縮、不使用時の電源OFF	全部署	計画	計画		設定	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用
				実績	☆		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コンプレッサのエアリークの点検	全部署	計画	計画		設定	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	
			実績	☆		◎	-	○	-	○	-	○	-	○	-	
	車用燃料使用量の削減	エコドライブの実施	全部署	計画	計画		設定	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	
				実績	☆		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
納品をまとめる		全部署	計画	計画		設定	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用		
			実績	☆		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	分別を徹底する	全部署	計画	運用	運用	設定	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	
				実績	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	
		コピー用紙の削減 (両面利用、裏紙活用)	全部署	計画	計画		設定	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	
				実績	☆		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	産業廃棄物の削減	分別を徹底する	全部署	計画	運用	運用	設定	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	
				実績	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総排水量	水使用量の削減	節水表示の推進	全部署	計画	計画		設定	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	
				実績	☆		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		水を流しっぱなしにしない	全部署	計画	運用	運用	設定	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	
				実績	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		水道配管からの漏水を定期チェックする（1回／年）	全部署	計画	計画		設定	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	
				実績	☆		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
化学物質	化学物質の管理の徹底	化学物質の購入量及び在庫管理（手順書による）	全部署	計画	計画		設定	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	
				実績	☆		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		SDSの収集	全部署	計画	計画		調査	調査	調査	調査	調査	調査	調査	調査	調査	
				実績	☆		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
製品	製造工程における不適合品の削減	不良データの収集と原因追求と対策	全部署	計画	計画		検討	検討	検討	検討	検討	検討	検討	検討		
				実績	☆		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会貢献	会社周辺の清掃	会社周辺の清掃実施	全部署	計画	計画		検討	検討	検討	検討	検討	検討	検討	検討		
		（1回／月）		実績	☆		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	
		活動計画実施状況・評価	環境管理責任者	奥村一浩												

運用：○ 未運用：- 調査中：△ 計画：☆ 設定：◎

8】環境負荷低減の取組結果

2024年11月20日

項目	実施内容	担当	結果	評価
電力使用量の削減	エアコンの温度設定（夏28度冬20度）	各部署	温度設定パネルに標語を貼り付け遵守できた	◎
	空調機のフィルターを年2回清掃する	各部署	取組前より実施しています	◎
	作業者のいない区画は消灯する	各部署	消灯の標語を貼り付けおおむね遵守できた	○
	始業前・休憩時・就業後の消灯をする	各部署	取組前より実施しています	◎
	照明器具の点検・清掃を年2回する	各部署	点検は常時行うが清掃は年1回でした	△
	OA機器は省電力設定にする	使用者	取組前より実施しています	◎
	必要の無い機器はコンセントを抜く	使用者	概ねできたが忘れもあり浸透は必要	○
	設備のアイドル時間短縮、不使用時の電源OFF	使用者	概ねできたが忘れもあり浸透は必要	○
	コンプレッサーのエア漏れの点検	使用者	点検は行ったが修理を怠った	△
燃料使用量の削減	エコドライブの実施	使用者	アイドルリングのストップは概ねできた	○
	定期的なオイル交換	使用者	取組前より実施しています	◎
	納品・引き取りをまとめて行う	使用者	効率良く考えているがまだ浸透が必要	△
	燃費を記録する	使用者	給油時に記載するが忘れることもある	△
	車に不要な物を載せない	使用者	運転者に浸透し遵守できた	◎
	暖房用燃料の削減	使用者	使用量が天候に左右されてしまい現状維持	△
一般廃棄物の削減	一般廃棄・プラスチックの分別を徹底する	各部署	取組前より実施しているが混載がある	○
	段ボールを分別しリサイクルする	各部署	取組前より実施してリサイクルしている	◎
	静電シートをリサイクルする	各部署	回収柵を設けて返却処理ができた	◎
	コピー用紙の削減（両面コピー）	各部署	A4については概ねできた	○
産業廃棄物の削減	廃棄物を金属とそれ以外へ分別する	各部署	概ねできたが浸透は必要	○
	電線をリサイクルする	各部署	取組前より実施している	◎
水使用量の削減	節水表示をする	使用者	節水の標語を貼り付け遵守できた	◎
	トイレの流水減の推進	使用者	現在検討中	△
化学物質の管理削減	化学物質の購入量を管理する	各部署	購入量を記載して明確化できた	◎
	作業を効率化して使用量を減らす	各部署	指示はしたが浸透が必要	△
製造工程における不適合品の削減	不良データの収集と原因追求	品証	取組前より実施するが減少していない	△
	作業者の教育訓練を行う	品証	取組前より実施するが漏れがある	△
教育	環境教育を行う	各部署	エコアクション21の浸透が概ねできた	○
	5S活動の推進	各部署	5Sパトロールは実施しているが浸透が必要	△
	環境上の緊急事態の想定と訓練	各部署	避難訓練と合同で実施	◎
	環境部門長の教育	各部署	資料の作成はできるが管理には浸透が必要	△
社会活動	会社周辺の清掃実施	各部署	現在検討中	△
	近隣の社会活動団体へ貢献をする	各部署	加盟団体への加入・寄付	○

◎運用できた ○概ね運用ができた △浸透には課題が必要 ×取り組みができていない・または検討中

9】環境負荷低減の取組評価と次年度への課題

① 電力使用量の削減

コロナ禍による事業活動への影響が大きく減少した。エアコンを省エネタイプのものに交換・照明器具のLED化、コンプレッサーの漏れの確認、照明ON-OFFルールの徹底など継続的な日常管理業務の定着化を勧める。

② 燃料使用量の削減（ガソリン+軽油）

コロナ禍による事業活動への影響が大きく、いずれも減少した。

③ 一般廃棄物の削減

一般廃棄物の削減は取組前より全社で行っており、お概ね良好に行われている。従業員が持ち込む飲食物の廃棄ゴミの削減にも取り組んでいる。但し、2023年度は2024年3月末の七宝工場閉鎖の影響で、廃棄物の多くは発注元である名古屋電気工業㈱処分であるが、紙類の処分が発生し大幅未達となった。

④ 産業廃棄物の削減

産業廃棄物の削減はコンテナ廃棄を行い産業廃棄物処理業者に任せていたが、分解分別できるものはできるだけ社内で行い廃棄物を減らしている。また配線材は配線処理業者へ売ることによって産廃処理からリサイクルへ移行できた。有価物（電線、金属）は確実に分別する。但し、2023年度は2024年3月末の七宝工場閉鎖の影響で、廃棄物の多くは発注元である名古屋電気工業㈱処分であるが、治具類、事務雑用品等の処分が発生し大幅未達となった。

⑤ 水使用量の削減

水道の蛇口へ啓蒙用標語の貼り付けを行い活動している。
トイレの流水使用量は従業員数の増減とも関連がある。

⑥ 化学物質の管理削減

化学物質の管理は購入時に量を記録して管理を行うようにした。使用量の削減には作業の効率化と教育訓練が必要であるので今後も課題として取り組む。また化学物質は製品の清掃時に使用する場合が多いので削減に取り組む

⑦ 製造工程における不適合品の削減

製造工程における不良の発生は電力使用量や燃料の増加に即繋がるので、発生・流出を防ぐ対策を取組前より行ってきた。しかし、現状は不良が発生しているので、さらなる対策と作業者への教育訓練を行い不良ゼロによる環境損失削減を目指す。基本的には納入各先からのクレーム件数の削減を達成したい。

⑧ 教育

環境教育はエコアクションの浸透とそれに伴う様々な取り組みを社員が真剣に行う必要があり、5S活動・省エネ活動など日頃から環境活動に目を向けさせるためにさらなる周知徹底を図ります。また環境部門長と協議を経て新たな取り組みを模索します

⑨ 社会活動

環境活動の一環として社外での清掃活動を検討します。また地域の環境活動団体への加入やイベントへの参加・寄付を行い社会活動に貢献します

10】環境負荷低減への次年度の取組目標

項目	実施内容	評価	次年度の取組目標
電力使用量の削減	エアコンの温度設定（夏28度冬20度）	◎	継続的に取り組み目標値を目指します
	空調機のフィルターを年2回清掃する	◎	継続的に取り組み年2回の交換を必ず行います
	作業者のいない区画は消灯する	○	周知徹底を行います 取組チェックシートの活用
	始業前・休憩時・就業後の消灯をする	◎	継続的に取り組みます 取組チェックシートの活用
	照明器具の点検・清掃を年2回する	△	年2回の清掃を行います
	OA機器は省電力設定にする	◎	継続的に取り組みます 取組チェックシートの活用
	必要の無い機器はコンセントを抜く	○	周知徹底を行います 取組チェックシートの活用
	設備のアイドリング時間短縮、不使用時の電源OFF	○	周知徹底を行います 取組チェックシートの活用
	コンプレッサーのエアー漏れの点検	△	接続部の修理を行いました
燃料使用量の削減	エコドライブの実施	○	周知徹底を行います 取組チェックシートの活用
	定期的なオイル交換	◎	継続的に取り組みます
	納品・引き取りをまとめて行う	△	取引先と相談し実行します
	燃費を記録する	△	周知徹底を行います 取組チェックシートの活用
	車に不要な物を載せない	◎	継続的に取り組みます
	暖房用燃料の削減	△	対応策を検討します
一般廃棄物の削減	一般廃棄・プラスチックの分別を徹底する	○	周知徹底を行います
	段ボールを分別しリサイクルする	◎	継続的に取り組みます さらなるリサイクルの推進
	静電シートをリサイクルする	◎	継続的に取り組みます
	コピー用紙の削減（両面コピー）	○	A4以外の再利用も行います
産業廃棄物の削減	廃棄物を金属とそれ以外へ分別する	○	継続的に取り組みます
	電線をリサイクルする	◎	継続的に取り組みます さらなるリサイクルの推進
水使用量の削減	節水表示をする	◎	継続的に取り組みます
	トイレの流水減の推進	△	次年度採用に向け対応策を検討します
化学物質の管理削減	化学物質の購入量を管理する	◎	継続的に取り組みます 取組チェックシートの活用
	作業を効率化して使用量を減らす	△	次年度採用に向け対応策を検討します
グリーン購入	事務標品のグリーン購入品の選定	△	調査して採用予定
	エコマーク品の購入	△	調査して採用予定
製造工程における不適合品の削減	不良データの収集と原因追求	△	継続的に取り組みます
	作業者の教育訓練を行う	△	継続的に取り組みます
教育	環境教育を行う	○	継続的に取り組みます EA21教育訓練計画に従う
	5S活動の推進	△	継続的に取り組みます 5S推進会議への参加・評価の受け入れ
	環境上の緊急事態の想定と訓練	◎	継続的に取り組みます 緊急事態訓練記録表の使用
	環境部門長の教育	△	継続的に取り組みます
社会活動	会社周辺の清掃実施	△	次年度採用に向け対応策を検討します
	近隣の社会活動団体へ貢献をする	○	継続的に取り組みます

11】環境関連法規の取りまとめと遵守評価表

環境関連法規等への違反はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

2024年11月20日法令を遵守し評価しました。

適用法令等	該当する規制	遵守項目	対象物	遵守評価
廃棄物処理法	廃棄物の適正分別と保管場所の確保	廃棄物分別手順と保管場所の掲示	産業廃棄物・粗大ごみ用コンテナ	○
	事業系一般、産廃の適正処理（排出者責任、収集運搬、処理業者への委託）	排出事業者の責務の遵守、（委託契約書、マニフェスト交付状況等報告書、現地確認など）（12条）	一般、産廃・粗大ごみ用コンテナなど	○
騒音規制法	騒音発生特定施設の届出	特定施設の届け*1	3.75kW以上のコンプレッサー	○
	規制基準の遵守義務	規制基準の遵守	-	○
振動規制法	振動発生特定施設の届出	特定施設の届け	3.75kW以上のコンプレッサー	○
	規制基準の遵守義務	規制基準の遵守	-	○
消防法（含む県条例）	危険物取扱、施設点検の遵守及び各届出	取扱、点検及び届出（指定数量管理）	エチルベンゼン・アルコール	少量であり対象外 ○
浄化槽法	特定行政庁へ設置届出	届出書	本社浄化槽	○
	保守点検基準の遵守	点検結果（11条検査）	本社浄化槽	○
	清掃基準の遵守	清掃結果	本社浄化槽	○
フロン排出抑制法	フロンの漏洩防止・管理	簡易点検と定期点検の実施と記録の管理	本社空調機	○
PRTR法	化学物質排出把握管理促進法	届出書と基準の順守 1トン以上/年	PRTR対象物質（エチルベンゼン）	少量であり対象外 ○
家電リサイクル法	使用済特定家電の引取業者への適正な引渡し	冷蔵庫、テレビ、エアコンのリサイクル	期間内の廃棄無し	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の引取業者への適正な引渡し	社用車のリサイクル	期間内の廃棄無し	○

保管：環境事務局

※1 騒音発生特定施設の評価に関してはコンプレッサーの使用が対象になるが、賃貸工場なので貸主（名古屋電機、明電舎）に届け出義務あり。

12] エコアクション21の教育計画

2024年10月作成

対象者	目的	内容	講師	スケジュール												備考
				10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
代表責任者	EA21の学習	会社の環境戦略の一環としてEA21を学習して実践に向けての準備をする	EA21事務局													
環境管理責任者・環境部門長	環境経営の戦略的重要性の自覚を高める	EA21の内容、環境問題の現状、環境経営の必要性を学ばせ管理させる	代表責任者													エコアクション21ガイドライン
環境推進係り（全従業員）	一般的な環境に対する自覚を高め行動させる	環境方針、環境目標、環境活動計画の作成・見直し 各自の役割分担の実施	環境管理責任者・部門長													環境方針／環境目標環境活動計画（手順書）EA21実施体制図
法規制等業務担当者	法規制等に関する責任感を高める	法規制等順守の手順の徹底を図る	環境管理責任者													当社に関連する法律、条令規制集
	法規制資格の取得	危険物取扱者	部門長													危険物の保管に必要な資格の取得
緊急事態への対応者	緊急事態発生時に適切に対応する	緊急時の対応手順書に基づき訓練で手順の適切性・有効性を確認する	環境管理責任者													緊急時の対応手順書

13】代表者による評価と見直し

実施日時	令和6年11月20日	出席者	代表取締役 奥村浩作、
場所	オーエフケー本社		環境管理責任者 専務取締役 奥村一浩
資料・データ等	環境活動レポートと各種文書記録		
① 法規制等の遵守状況			
遵守されている			
② 苦情を含む外部利害関係者からの関連情報			
今期外部からの苦情等はありませんでした			
③ 環境パフォーマンス、環境目的・目標の達成状況			
取組を始めて約7年が経過し、2020年のコロナ禍の影響、から回復傾向にあったが、2024年3月末の七宝工場閉鎖により、方針、活動体制、中期計画の見直しが必要となった。それらの変化に対応した新しい中期計画に基づくCO2の目標値は達成の状況にある。但し、一般含めた廃棄物の多くは発注元である名古屋電気工業㈱処分であるが、紙類、事務雑用品等の処分が発生し大幅未達となった。			
④ 是正処置及び予防処置の状況			
是正処置及び予防処置が必要な活動は無し。			
⑤ 事故・緊急事態発生時の対応状況			
事故・緊急事態の発生はありません。七宝工場は2023年10月に名古屋電機工業様と合同の地震避難訓練、枇杷島工場は2023年9月8日の明電舎様と合同の避難訓練を実施。			
⑥ 当社の環境システムに影響する、法規制などを含む社内外の環境状況の変化			
七宝工場は名古屋電機工業様の工場の一部エリアでの操業であり、法規制等閉鎖に伴う変化は特にありません。			
⑦ 環境システムの継続的改善に係る提案			
七宝工場閉鎖に伴い、2024年4月より体制を変更した。			
⑧環境方針、環境目標、環境計画、環境活動実施体制に係る要素の変更の必要性			
七宝工場閉鎖に伴い、2024年4月より環境方針、環境目標、環境活動実施体制体制を変更した。			
社長コメント			
1) エコアクション21の活動を始めて約6年が経過した。コロナ禍が生産活動に大きく影響したここ数年であった。従って使用したエネルギー、水使用量、などはいずれも大幅に減少した(七宝工場閉鎖に伴う廃棄物増を除く)。七宝工場閉鎖に伴う諸事も落ち着いてきました、今後も環境活動への参加意識を持ち、電気や水道・燃料の節約に積極的に継続的に取り組むことを期待します。 2) 2024年12月19日の審査での「B-1：ガイドラインに軽微な不適合」を受け、次回の審査は2025/7に審査を受ける計画で進めることとする。←【左記を2024年12月27追記】			